

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371301090
事業所名	グループホーム安楽樹

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 町内会に参加し、近隣の保育園に運動会や盆踊りに招待されたり、事業所の夏祭りに近隣の人の参加を呼びかけ、ボランティア訪問を得たり、馴染みの外食場所を増やすなど、地道な交流をひろげている。 事業所としては地域福祉の拠点となれるよういきいき支援センター主催の認知症の勉強の場に講師を派遣したり福祉祭りに参加するなど積極的に取り組んでいる。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 運営推進会議は年に6回、町内会長、民生委員、いきいき支援センター職員、家族代表などの参加を得て開催され、さらに近隣の人の参加などもたびたびあり地域密着サービスを知ってもらおう場としても活用されている。 例えば温泉旅行へ家族は参加が可能か、という質問があがり家族の有無もあるため準備に関わってもらいたいと答えるなど、質疑応答や行事説明などの場として活用している。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 手続き書類の提出や、生活保護の受入れ、あるいは保健所主催の勉強会へ講師派遣であるとか、外部研修へ職員が参加するなど、普段からさまざまな形での連携がとれており、今年度はAEDを設置するにあたり、消防署から講習にきてもらい、その場を活用し事業所側から車椅子の扱いについて指導をするといった連携も見られた。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 年に4回 事業所便りが発行され家族へ送付されている。 家族が事業所を訪問する時には職員が利用者の近況報告をし、何か要望や意見があればそれを受け早急に対処が必要な場合はすぐに管理者や他の職員と話し合うようにしている。電話連絡時も同様に、常に耳を傾けるよう心がけている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。